

	北波多小学校 学校だより22号	北波多小だより	令和7年10月15日発行 文責 校長 川原 悟
---	--------------------	----------------	----------------------------

心をつなぐ志気浮立で運動会を盛り上げる！

北波多に伝わる「志気浮立」。今年も運動会で踊ります。昨年も全校で踊る中に保護者や地域の皆さんも一緒に参加いただいたことで、とても思い出に残る志気浮立になりました。一緒に踊る志気浮立は、いつの間にかみんなの心を一つに繋げてくれる、そんな思いを感じます。参加いただいた皆さん、本当にありがとうございました。

今年も実行委員会を中心に準備を進めていますので、さらに盛り上がることと思います。

ここ数年は、ひかり保育園の川浪仁美先生に講師として来ていただき、4年生以上の子供たちへ志気浮立の指導をしていただいています。今年も指導していただきましたが、言葉で聞くよりも体が覚えているようで、音楽がなると自然と踊りだし、掛け声をかけながら、子供たちは短時間で上手に踊り、思い出することができていました。

ここで受けた指導をもとに、子供たちは下学年の子供たちへ志気浮立の指導を行います。受け継がれる伝統文化であるがゆえに、学校でもいつまでも大切に受け継いでいきたいものだと考えています。



唯一無二の作品を目指して！

唐津焼発祥の地である北波多ならではの取組として行っている「やきもの教室」。他校には無い大変貴重な学習活動の一つです。

今年も三帰庵の富永祐司さんに指導をしていただきます。富永さんには、これまで長年に渡り尽力いただいております、大変有難い限りです。

先週は、1年生から4年生に指導をしていただきました。何を作ろうかと粘土に触れながらアイデアを考え、身近な生活で使えるようなお皿やお茶碗、カップや花瓶など、思い思いの作品を作ることができていました。作る途中に、友達に作品への思いを語る子供たちもいて、満足できる作品ができていたようです。また、不思議なもので、友達と会話をしながらでも、いつの間にか作品作りに没頭しているのが、このやきもの教室で見られる光景です。粘土には、自然と心を落ち着かせ、集中力を高めるような効果がやはりあるように思います。

ここで作るやきものは、唯一無二の作品となります。完成がとても楽しみです。完成したら、ぜひ御家庭で使ったり、飾ったりして大切にいただければと思います。

